

- 1.適用規則については、2022年公認野球規則（軟式）及び本大会規則を併用する。
- 2.試合はトーナメント方式6イニング制とする。
- 3.試合開始後1時間30分を過ぎて新しいイニングには入らない。
但し、1時間30分を経過したときリードしているチームが裏の攻撃中の場合は、次の回を最終回とする。（決勝戦を除く）
- 4.3回終了10点差、5回終了7点差にてコールドゲームとする。（決勝戦を除く）
- 5.同点の場合の扱いは、特別延長ルール（別途定める）もしくは抽選とする。（決勝戦を除く）
 - ※特別延長ルール
1死満塁・継続打順・一塁走者は前回の最終打者・二塁、三塁走者は順次、前の打者とし、最大2イニングを戦う。勝敗が決しない場合は抽選とする。
規則により認められる選手交代は許されるが、代打・代走は正規の選手が一旦所定の位置に着いてから交代する。
 - ※抽選
試合終了時に守備についていた選手9人で行う。
- 6.ダッグアウトは組み合わせ番号の若いチームが一塁側とする。
- 7.グラウンドルールは各会場の指定するルールに従う。
- 8.相手チームや審判員へのヤジは禁止とします。
- 9.大会規約に違反した行為が発覚した場合は審判員及び事務局の判断で失格とする場合もある。
- 10.危険防止の為に用具は必ず使用する。

11.チームは試合開始の30分前までに、メンバー表（4枚）（決勝は5枚）を大会本部に提出する。
試合開始予定時刻になっても会場に到着しないチームは、原則として棄権とみなす。

12.本大会はバントを禁止とする。

- ・投球時バントの構えを行った場合ボールデッドとし、ストライクをカウントする。
走者は投球時の塁に戻る。

13.本大会は特別指名打者（EDH）を採用することが出来る。

※特別指名打者（EDH）に伴う「特別ルール」

- ・EDHを採用するチームは、チームのベンチ入りメンバーが11名以上である必要がある。
- ・EDHは1人まで出場出来る。打順は自由に選ぶことが出来る攻撃のみの選手。
- ・EDHの選手に代打、代走を送ることが出来る。
- ・EDHの選手も途中から守備につく事が出来る。
その時の打順は変わらずに攻撃にも参加できる選手となる。
- ・EDHの選手が守備についている選手と交代して守備につく場合、守備についていた選手は、攻撃のみとなるか、控えの選手がEDHとして出場する。但し打順は変わらない。
- ・試合開始前にEDHを採用するか、採用しないかを申請する。EDHを申請したチームは、試合終了までEDHを採用しなければならない。尚、試合の途中からEDHの採用は出来ない。

14.ベースコーチは選手が行うこと。（監督、コーチによるベースコーチを認めない）

15.1日における試合の投球数は70球以内とする。

- 但し、打者と対戦途中で制限投球数に達したときはその打席が完了するか、
打席中に攻守交代になるまで続投できる。

16.申告敬遠の適用はしない。